

|   |                                  |
|---|----------------------------------|
| 2 2 陳 情<br>第 2 号  | 新施設建設に係る陳情                       |
| 付 託 委 員 会   | 福祉健康委員会                          |
| 受 理 及 び 付 託<br>年 月 日  | 平成22年2月18日受理、平成22年2月26日付託        |
| 陳 情 者   | 新宿区百人町—————<br>—————<br>代表 ————— |
| <p>( 要 旨 )</p> <p>新宿区立高田馬場福祉作業所の新築移転に伴い、次のとおり要望します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 短期入所施設(ショートステイ)を併設して下さい。</li> <li>2 建物に、喫茶コーナー、物品販売コーナーを設置して下さい。</li> <li>3 屋上に農園ができる場所を作して下さい。</li> <li>4 施設建設に関する説明を、随時行ってください。</li> </ol> <p>( 理 由 )</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 短期入所施設(ショートステイ)を併設して下さい。</li> </ol> <p>短期入所施設は、地域生活を送る上で、非常に重要な社会資源となっております。</p> <p>当作業所が実施した短期入所アンケートでは、「やや不足している」「不足している」を合わせると、84%の方が、不足と感じております。区内短期入所施設の平成20年度の利用率は、障害者福祉センター85.5%、あゆみの家59.5%、新宿生活実習所92%となっています。この使用状況を見ても、「利用したい時に利用できない」という状況は、利用者の希望する日時が限定されることも考え合わせ、容易に想像できます。</p> <p>また、利用しづらい理由として、各施設とも「予約が取れない、希望する日が空いていない」が一番多く、その他「送迎がついていない、つけなければならない」、「交通の</p> |                                  |

便が悪い」「緊急時に受け入れてくれない」「設備が古い、使い勝手が悪い」などが多く挙げられています。

これらの現状を考えれば、新施設に短期入所を併設することは、区民である利用者・家族に対するサービスの質の向上につながるものと考えます。

以下に、高田馬場という地域性も含めた、併設の必要性・メリットを記載致します。これらの事項も考慮され、是非とも併設していただきたくお願い致します。

利用したい時に利用できない現状があり、現在の利用率は、使いづらくて使わないという方は入っておらず、「現在の利用率 = 需要」とはとらえられない。使いやすい施設が出来れば、ニーズの掘り起こしとなり、更なる需要が生じると考える。

現在、知的障害のある方が利用する短期入所施設として、区西部には「あゆみの家」、東部には「障害者福祉センター」「新宿生活実習所」があるが、高田馬場福祉作業所がある中央部分には該当施設がない。

立地予定地は、JR高田馬場駅、東西線高田馬場駅、西武新宿線高田馬場駅が近く、公共交通機関が利用しやすい。

公共機関が使いやすいということで、施設利用者のみでなく、地域の障害のある方、就職している障害のある方も利用しやすい。

施設が増えることによって、体験的利用やレスパイト的利用もしやすくなる。

最初から計画的に建設するので、短期入所施設としての機能をしっかり盛り込むとともに、利用者がくつろいで過ごせるような環境を作り出すことが出来る。

短期入所施設には、調理設備、入浴設備、障害者用トイレなどが設置されており、災害時には、地域の障害のある方も含めて、避難所的に利用することも出来る。

高田馬場福祉作業所利用者に限れば、同じ建物の中にあることにより、送迎が要らず、使いやすいとともに、何かあれば、すぐに職員が対応できるような態勢がある。

## 2 建物に、喫茶コーナー、物品販売コーナーを設置して下さい。

今回移転する場所は、駅前であると共に、付近に専門学校や団地があり、物品販売を行うには好適地と思われます。また合築されるリサイクル活動センターでも、リサイクル品の販売や修理を行いますので、そこに来るお客さんも対象に道路に面した1階に、

喫茶コーナー、物品販売コーナーを設置したいと考えています。

喫茶コーナーでは、高田馬場福祉作業所で作った焼きたてパンや手作りクッキーの販売、コーヒー等の飲み物の提供を行い、物品販売コーナーでは、リサイクルハガキなどの自主生産品、屋上農園で作った野菜や保護者が作った手作り品、他事業所からの委託販売等を行いたいと考えています。さらに災害時対応の自販機も設置したいと考えています。

また、これらをうまく軌道にのせ、作業所の課題である工賃アップに結びつけたいと考えています。

### 3 屋上に農園ができる場所を作って下さい。

現在作業所では、屋上を利用して農園を行っています。不定期の収穫ながら、利用者にとっては、作物が成長していく過程での手入れとともに、収穫の喜び、そしてそれを販売して収入を得るという一連の流れが見える、とてもよい作業となっております。また室内作業が多いだけに室外での作業は、良い気分転換ともなっています。

移転先でも現在と同様にこのような菜園を作り、利用者が作業できるように願っています。現在は、場所の制約もあり、プランターを合わせても7～8㎡程度ですが、出来れば新しい場所では、50㎡以上の場所を確保していただければと考えています。それにより一定の収量を確保し四季に応じた作物の販売が出来ればと考えています。

またこの取組は、新宿区のISO14001環境方針に記載されている、2「みどりにつまれた、環境にやさしいまちをつくります」の中の「(1)自然とのふれあいを大切にし、みどりを保全・創出して、自然と共生する空間の拡大をします」の趣旨にも合致し、夏場、建物が温暖化するのを予防する効果もあります。

### 4 施設建設に関する説明を、随時行ってください。

私たちに対し、出来るだけ進捗状況も含めて随時説明をいただき、利用者・保護者が理解できるような状況を作っていただくとともに、意見を述べる機会を作っていただきたいと思います。施設建設に関する事項は、中間説明も含め、報告を随時行なってください。